

会 議 結 果

会議名	令和7年度第2回館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会
日時	令和7年8月5日（火）午後2時から午後3時まで
場所	市庁舎5階501B会議室
出席者	<p>【委員】計7名 神谷会長、田中委員、菅野委員、丸山委員、島田委員、鈴木委員、板橋委員 ※欠席者：仙波委員、河内委員</p> <p>【市職員】計4名 政策企画部長、企画課長、政策推進係長、政策推進係担当</p>
議事要旨	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 次期総合戦略（素案）について （委員からの主な意見等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本目標1」について、指標として「製造業」に絞られているが、絞らない方が分かりやすいのではないかと。 ・ 「基本目標4」について、「行政手続きのオンライン化に関する市民満足度」という指標があるが、お年寄りに向けてはオンライン化が果たしてどこまで満足度に繋がるのか疑問である。 ・ デジタルの力については、便利な面もあるが、高齢者等は使いにくい面もあるため、「デジタル」と「アナログ」の並行性は必要だと思ふ。 ・ 「教育」に関する施策が非常に重要だと考えており、館林市においても、里沼などを題材に自然を学ぶような探求活動を子供たちに提供することによって、他市との違いなどを打ち出せばよいと考える。 ・ 「基本目標2」について、「移住・定住の促進」とあるが、移住・定住の促進に向けては、館林の魅力等についてわかりやすい形で発信することが必要であり、デジタルの力やSNSを用いたりすることなどが効果的と考える。 ・ 「基本目標1」について、「税収や雇用面で魅力がある製造業等の企業」という記載があるが、他にも様々な魅力がある企業がある中で、製造業に絞った記載が気になったところである。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館林市の魅力は東京から近く、また比較的家賃が安いこともあり創業しやすい環境にあると考えるため、新しい事業をしたいという若者を惹きつける場所として確立できると思う。 ・ 基本目標 1～4 に共通して、「基本的方向」がそれぞれ 2 つずつの項目で記載されているが、対象や方向が違う内容の文章が無理にまとめられているような印象を受け違和感があるため、いくつかの文に分けてもよい。 ・ 「自然増減数」のマイナスの数を抑えていくということだが、現状、市内には産婦人科の病院も 1 件であり、館林厚生病院でも分娩が難しいなど、出産する場所が少ない。また、教育についても中学・高校等が市外に流出している。 ・ 「基本目標 3」について、「妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援」を充実させるために切り離せないのが、子どもを産み育てやすい労働環境の整備だと考えるため、行政からも企業の方に周知いただくことによりより良い労働環境の整備に繋がると思う。 <p>(2) 次期人口ビジョン（素案）について （委員からの主な意見等） 特になし</p> <p>4 その他 （委員からの主な意見等） 次回に向けても、各委員との綿密な調整をお願いする。</p> <p>5 閉会</p>
--	--